



2022年2月28日
沖繩ツーリスト株式会社
沖繩電力株式会社
沖繩新エネ開発株式会社

沖繩ツーリスト レンタカーステーションへの 第三者所有モデルを活用した太陽光発電システムの導入について

この度、沖繩ツーリスト株式会社（代表取締役会長 東良和 以下、「OTS」）と沖繩電力グループの沖繩新エネ開発株式会社（代表取締役社長 成底勇人 以下「沖繩新エネ開発」）は、OTS が保有するレンタカーステーション（豊見城市豊崎）に、沖繩新エネ開発の「太陽光第三者所有モデル（以下、PV-TPO ※）」を導入することで合意しました。

沖繩新エネ開発は、レンタカーステーションへ太陽光発電設備および蓄電池を初期投資ゼロで設置します。これにより、OTS は年間約 100 t の CO₂ 削減に貢献します。また、停電時は同ステーションカーポート下に設置した非常用コンセントから電気を使用することができるため、災害時に居合わせた利用者に対し、非常用電源として開放する予定です。

これは、OTS が掲げる、地場企業の強みを生かし県民や地域事業者と一緒に進める”OTSらしい SDGs”の取り組みの一環であり、地域に根差した企業として沖繩電力が掲げる「地域とともに、地域のために」のコーポレートスローガンに資する取り組みでもあります。

なお、沖繩県内の PV-TPO 事業において、折板構造の屋根へ太陽光発電設備を設置する事例は OTS が初となります。コンクリート陸屋根に加え、折板屋根にも太陽光発電設備の導入が可能となることで、県内の再生可能エネルギーの更なる普及が見込まれ、沖繩電力の”2050年 CO₂ 排出ネットゼロ”の実現に向けた方向性の一つである「再エネ主力化」を一層推進する取り組みにもなります。

3社は本サービスの導入を通して、今後も沖繩県の持続可能な社会づくりに向けた取り組みを推進してまいります。



※PV-TPO<太陽光第三者所有モデル>

： Photovoltaic Third-Party Ownership

太陽光発電設備と蓄電池を初期投資ゼロで設置し、発電した電気をお客さまに販売するサービス。ご検討から導入、メンテ、撤去まで沖繩新エネ開発がワンストップで対応。

<今回設置するシステム>

- ・太陽光発電設備：65 kW システム
- ・蓄電池：13.5 kWh

**沖縄ツーリストは、地域に根差す旅行会社の強みを生かし、
”OTSらしいSDGs”の一連の取り組みを開始します。
沖縄県民や地域事業者と一緒に、沖縄の持続可能な社会づくりを応援します。**

沖縄ツーリスト株式会社（OTS、代表取締役会長 東良和 以下、「当社」）は、沖縄の持続可能な社会づくりに貢献するため、「OTSらしいSDGs」に取り組みます。地域に根ざす沖縄の旅行会社として、当社は60年以上にわたり、沖縄県民の皆様によって育てていただきました。そのなかで培ったつながりと、交流人口創出という旅行会社機能を活かし、県民の皆様と一緒により良き沖縄を実現することが当社のSDGsです。

